

2018 年度 事業報告書及び決算報告書

自 2018 年 4 月 1 日
至 2019 年 3 月 31 日

一般財団法人 静岡経済研究所

2018 年度 事業報告書

平素は、静岡経済研究所の活動にご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

この30年余の歩みを振り返りますと、バブル景気の熱気のなかにスタートした平成は、バブル崩壊とともに、いわゆる「失われた20年」後も、世界規模の金融危機を引き起こしたリーマン・ショック、未曾有の被害をもたらした東日本大震災などに直面しました。この間、IT景気、いざなぎ景気などの追い風はあったものの、成長力は力強さに欠け、依然としてデフレ経済から脱却できないまま、私たちは、社会のさまざまな領域で、人口減少を背景とした構造変化への対応を迫られています。

このかつて経験のない環境変化に直面するなか、私たち静岡経済研究所では2018年度の重点テーマを「大変革期の今、地域経済の豊穡化を目指して」と定め、「地域経済の羅針盤」として自らの使命を果たすべく、実証的な調査研究により皆さまの未来を切り拓く情報発信と提言に向けて、所員一丸となって努力を重ねてまいりました。具体的な活動内容につきましては本報告書にお示しした通りですが、報道機関に取り上げられた調査研究も多く、地域社会に対して時宜をとらえた問題提起を行うとともに、期待される情報発信を果たすことができたと考えております。

さて、私たちを取り巻く環境に目を転じると、AIやIoTなどに象徴される第4次産業革命がもたらす技術革新は、経済や社会の在り方を大きく変えようとしています。この潮流は、働き方改革や労働力対策など、社会的な要請と歩調を合わせ、今後大きく加速していくことは確実です。

時代の転換期にあっては、過去の価値はしだいに輝きを失い、未来へと生きる私たちには、それぞれのビジネスシーンにおいて時代が求める新しい価値を創造していく努力が求められています。そのためには、リスクを恐れずに「変化に挑戦する強い意志」、過去の経験則や成功体験に依拠しない「非連続の発想と行動」が重要となります。

こうした問題意識のもと、静岡経済研究所は、引き続き皆さまとの対話を重視し、実証的な調査研究によって地域経済が直面する課題を明確にし、進むべき方向性の提言に努めてまいります。あわせて、変化の時代にあって、皆さまが変化の先頭に立つこと、すなわち変化を創り出すための挑戦に貢献できますよう、時代を先取りする調査研究に取り組み、皆さまのご期待にお応えしてまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

1. 当法人の現況に関する事項

(1) 財産及び損益の推移

2018年度は、基本財産運用益の減少や郵送費の上昇に直面する中、経営セミナーの開催数増加や経費削減の取組みを進めた結果、黒字となりました。

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 (当該事業年度)
経常収益(百万円)	358	350	335	334
経常費用(〃)	326	325	322	321
当期経常増減額(〃)	32	25	13	13
正味財産期末残高(〃)	1,507	1,532	1,546	1,559

(2) 会員に関する事項

2018年度は、会員先数は減少しましたが、会員獲得運動の実施などにより維持会員が増加したことで、会費収入は前年並みを維持することができました。

種 類	前年度末	当年度末	先数増減	口数増減※
維持会員(年会費 35,000円)	4,093先	4,127先	+34先	+102口
賛助会員(年会費 12,000円)	10,981先	10,912先	△69先	△69口
合 計	15,074先	15,039先	△35先	+33口
(参考)年間会費収入	269百万円	269百万円	—	—

※維持会員1先=3口、賛助会員1先=1口として算出。

2. 主な事業内容

(1) 調査研究事業

① 自主研究

本年度は、「大変革期の今、地域経済の豊穰化を目指して」を重点研究テーマに掲げ、「産業」「経営」「地域」という3つの観点から、静岡県的发展方向について調査研究を進めてまいりました。

A. 産業

- ・「静岡県製造業の『平成ショック』」
- ・「EVシフトに立ち向かう県内自動車産業」
- ・「存在感増すインバウンド観光客」
- ・「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの“今”を考える」
- ・「データでみる観光県・静岡のすがた」
- ・「全国有数の医薬品製造県・静岡」
- ・「市場ニーズに順応し、伸張するレトルト食品業界」
- ・「市場の拡大が期待される家事代行サービス業界」
- ・「活況を呈する静岡県内のクラフトビール業界」

B. 経営

- ・「静岡県の就労構造の現状と課題」
- ・「“平成”時代の経営環境を振り返る」
- ・「静岡県における外国人労働者の実態」
- ・「農業作業請負事業の可能性」
- ・「食品スーパーが挑む独自商品による顧客開拓の可能性」
- ・「人手不足と市場変化に対応する県内自動車整備業界」
- ・「平常時の経営能力を高めるBCP」
- ・「県内でも活用が始まった人工知能」
- ・「経営基盤の再構築が求められるガソリンスタンド業界」
- ・「県内企業の研修教育の実態」
- ・「新技術の活用で広がる 省エネ支援ビジネス」

C. 地域

- ・「イベント開催に伴う経済波及効果を高めるために」
- ・「長寿化が地域雇用に及ぼす影響を考える」
- ・「静岡県民の「教育観」を考える」
- ・「公共インフラの運営で導入広がる“コンセッション”」
- ・「自治体の婚活事業」
- ・「公民連携による公共施設の有効活用」
- ・「広がるリノベーションの可能性」

②定例調査

当所のネットワークを活用し、静岡県の産業や消費動向、企業の景況感などを定期的に調査し、迅速に情報提供しました。

- A. 企業経営者の景気見通し調査（6月、12月）
- B. 中堅・中小企業の設備投資計画調査（9月、3月）
- C. 県内主要産業の四半期見通し調査（4月、7月、10月、1月）
- D. 静岡県版景気ウォッチャー調査（5月、8月、11月、2月）
- E. 消費動向調査（12月）

◎出版物の発刊実績

A. S E R I Monthly (マンスリー)	年 1 1 回	170,400 部発行
B. S E R I 景況レポート	年 1 3 回	176,750 部発行
C. S E R I 研究季報	年 4 回	28,100 部発行
D. 静岡県会社要覧	年 1 回	16,600 部発行
	(うち、CD-ROM同梱版	4,400 部発行)
	CD-ROM単体版	200 部発行)
E. 中小企業のための特別情報	年 4 回	60,100 部発行
F. 経営相談	年 6 回	24,900 部発行
G. 干支情報	年 1 回	5,900 部発行

③受託調査

県内自治体や各種団体から、さまざまなテーマの調査を受託し、地域経済の活性化やまちづくりに向けた提言を行いました。

A. 静岡県

- ・ふじのくにフロンティア推進動向調査 (静岡県総合政策課)
- ・生涯収支のモデルプラン試算業務 (静岡県労働雇用推進課)
- ・公契約に係る労働力不足の実態等調査・分析 (静岡県出納局)

B. 市町

- ・静岡市景況調査 (静岡市産業政策課)
- ・静岡市産業集積方針作成業務 (静岡市産業政策課)
- ・静岡市高齢者就労に関するヒアリング調査 (静岡市高齢者福祉課)
- ・地域再生計画実施に伴う経済波及効果算出 (富士市企画課)
- ・「富士市営住宅再編計画」策定に係る経済波及効果調査 (富士市住宅政策課)
- ・牧之原 I C 土地区画整理事業経済波及効果調査 (牧之原市建設部)
- ・「河津桜まつり」開催による経済波及効果調査 (河津町企画調整課)

C. その他

- ・経済対策事業による経済波及効果調査 (御殿場市商工会)
- ・プロフェッショナル人材活用セミナー開催支援業務 (静岡商工会議所)
- ・掛川市景気動向調査 (掛川商工会議所)
- ・静岡マラソン2018経済波及効果調査 (静岡朝日テレビ)
- ・インターンシップと就職率の相関関係調査 (独立大学法人)
- ・静岡県内外為取引に関する調査 (静岡銀行)

など

(2) 会員交流、セミナー事業

① 新春講演会の開催

さまざまな分野で活躍する著名講師を招請して、県内5会場で開催しました。

(参加者数 延べ2,500名)

開催日	演題 講師	開催地 会場	来場者
2019年 1月9日	「2019年日本経済の展望と世界の動向」 (一財)日本総合研究所 会長 寺島 実郎 氏	沼津市 沼津リバーサイド ホテル	570名
1月10日	「日本経済の行方」 東洋大学教授 慶應義塾大学名誉教授 竹中 平蔵 氏	浜松市 えんてつホール	650名
1月18日	「トランプ政権と日本経済への影響」 早稲田大学教授 中林 美恵子 氏	富士市 ロゼシアター	360名
1月25日	「米中衝突と日本の針路」 外交ジャーナリスト 作家 手嶋 龍一 氏	静岡市 しずぎんホール ユーフォニア	520名
1月30日	「2019年の日本経済の展望」 (株)第一生命経済研究所 経済調査部首席エコノミスト 永濱 利廣 氏	掛川市 パレスホテル掛川	400名

② SERI 経営セミナーの開催

新入社員から経営層まで、各階層に応じた質の高いセミナーを開催しました。

(年22回開催・参加者数 延べ1,297名)

開催日	テーマ	参加者
2018年 4月12日	新入社員研修 ビジネスプラスサポート 人財育成プロデューサー 森田圭美 氏	105名
4月24日	成果につなげる「提案営業」の進め方 リアルコネクト 代表取締役 小倉正嗣 氏	25名
5月25日	管理職！あなたがやらねば誰がやる インサイトラーニング 代表取締役 箱田忠昭 氏	50名
6月14日	中堅社員スキルアップセミナー グローアップ教育センター 代表 西澤浩二 氏	69名
6月22日	困難に挑む「折れない心」をつくる きらめき労働オフィス 代表 角井孝次 氏	68名

7月4日	営業の基本と実践テクニック 「ちいさな会社」の経営コンサルタント 吉見範一氏	70名
7月18日	経営者のための財務3表一体理解 ボナ・ヴィータ コーポレーション 代表取締役 國貞克則氏	66名
8月8日	仕事の進め方とハウレンソウ きらめき労働オフィス 代表 角井孝次氏	83名
8月22日	総務担当者の役割と基礎実務 E d u. ANNEX 代表 池田稔子氏	62名
8月24日	課長の役割と仕事 ビジネスディベロップサポート 代表 大軽俊史氏	79名
9月11日	職場リーダーのコミュニケーション力と問題解決力 EMIコンサルティング 代表 福井充雄氏	86名
9月26日	数字で伝え、説得する技術 BMコンサルティング 代表取締役 深沢真太郎氏	51名
10月12日	絶対にやってはいけない会社の人事 トムズコンサルタント 代表 河西知一氏	67名
10月19日	できる若手社員の先読み仕事術 エンパワーモチベーション 代表 北川和恵氏	37名
11月2日	ミスゼロの仕事術 ビジネスプラスサポート 人財育成プロデューサー 菓子田圭子氏	32名
11月16日	若手社員セミナー「5つの力」を徹底強化【沼津開催】 N&Kネットワーク 代表 天崎啓一氏	23名
11月27日	甘えを捨てよう！中堅社員 ヒューマンブレイン 代表取締役 稲垣正己氏	67名
12月4日	新任管理職マネジメント力養成セミナー 人事政策研究所 代表 望月禎彦氏	44名
2019年 2月5日	上手なほめ方・叱り方 Y'sオーダー 代表取締役 藤野祐美氏	78名
2月15日	90日で「最強の営業」をつくる ヒューマン・クリエイティブ・コンサルティング 所長 山口真一氏	48名
2月22日	“右腕幹部”育成講座 アクティブ経営研究所 所長 鑄方貞了氏	30名
3月13日	後輩指導法実践講座 きらめき労働オフィス 代表 角井孝次氏	57名

③SERIサロンの開催

地域課題の解決に役立つ情報提供の場、会員の皆さまとの交流の場として開催しました。(年3回開催・参加者数 延べ320名)

開催日	テーマ	参加者
2018年 7月9日	「変わる生活価値観」 パネリスト：(株)ホテルグランド富士 取締役支配人 戸塚祐一郎氏 インフィック(株) 代表取締役 増田正寿氏 あいネットグループ セレモニー事業本部長 手嶋正至氏	100名
10月2日	「世界貿易摩擦の行方」 パネリスト：静岡銀行 ニューヨーク支店長 静岡銀行 香港支店長 欧州静岡銀行 取締役社長 静岡銀行 シンガポール駐在員事務所長	120名
2019年 2月14日	「2019年の経済を展望する」 内外経済の動向と金融市場の見通し 当所常務理事 中村昭夫 静岡県経済の見通し 当所常務理事 大石人士	100名

④各種講演会・勉強会への講師派遣

静岡県、静岡市などの行政、静岡県経営者協会や静岡商工会議所をはじめとした経済団体、静岡産業大学などの教育機関、民間企業等からの要請に応じて、当所の役職員を講演会の講師として派遣しました(年間103回)。

⑤通信講座の幹旋

SERI通信講座を開講し、会員企業の社員等を対象に、通信講座の受講を幹旋しました(受講者数45名)。

(3)その他の事業

①コーディネート業務への取り組み

静岡県が進めるふじのくにフロンティア構想の実現に向けて経済界が静岡県と連携して取り組む「ふじのくにフロンティア推進コンソーシアム」や、中小企業と新卒者との雇用のミスマッチ解消を目的に県内の経済団体と大学で組織された「しずおか産学就職連絡会」の事務局を務めました。

②公職委員への就任

静岡県産業成長戦略会議委員、静岡県男女共同参画会議委員、掛川市地域創生戦略会議委員など、地方公共団体、経済団体等からの要請に応じて各種委員会の委員に就任、専門家としての知見を発揮することで、地域に貢献しました(95先)。

③県内大学や行政との情報交換会の開催

静岡県内の大学（静岡大学、静岡県立大学、静岡産業大学、常葉大学）と情報交換会を1回、中部経済産業局、静岡財務事務所とは、それぞれ1回開催しました。

④マスコミへの登場

調査研究成果が新聞で取り上げられたりテレビ、ラジオに登場しました（年間276回）。

毎月1回、NHK静岡の夕方番組「たっぷり静岡」の「たっぷり経済」での経済・産業動向の解説を担当、また静岡朝日テレビの「とびっきり静岡」へのコメンテーターとしても定期的に出演しました。

⑤研修生の受入れ

地域、企業の明日を担う人材を育てるため、静岡県や民間企業等から研修生を受け入れました。

静岡県からの研修生	1名（研修期間1年）
民間企業からの研修生	3名（研修期間2年）

(4) 庶務事項

- 2018年5月17日 監事監査
- ①平成 29 年度事業報告書及びその附属明細書並びに理事の職務の執行に関する監査
 - ②平成 29 年度計算書類及びその附属明細書並びに公益目的の支出計画実施報告書の監査
- 2018年5月24日 平成 30 年度第 1 回理事会
- <決議事項>
- ①「平成 29 年度事業報告書及び決算報告書」の承認の件
 - ②「公益目的の支出計画実施報告書」の承認の件
 - ③「常勤理事の退職慰労金支給規程」の改定の件
 - ④「定時評議員会」の招集の件
- 2018年6月8日 定時評議員会
- <決議事項>
- ①「平成 29 年度事業報告書及び決算報告書」の承認の件
 - ②「理事」全員任期満了に伴う改選の件
 - ③「評議員」選任の件
 - ④「常勤理事の退職慰労金支給規程」の改定の件
- 同 上 平成 30 年度第 2 回理事会 [書面表決]
- <決議事項>
- ①代表理事 1 名選定の件
 - ②業務執行理事 2 名選定の件
- 2019年3月29日 平成 30 年度第 3 回理事会 [書面表決]
- <決議事項>
- ① 2019 年度事業計画及び同収支予算書の承認の件

(5) 役員等の異動

異動日	異動時の地位	氏名	新任・退任
2018 年 6 月 8 日	評議員	後藤 正博	退任
2018 年 6 月 8 日	評議員	八木 稔	新任

事業報告の附属明細書

1. 役員等に関する事項（役員以外の法人との兼職状況）

2019年3月31日現在

役職名	氏名	現職名
評議員【8名】	岩崎 清悟	静岡ガス株式会社 取締役特別顧問
	木村 博彦	株式会社木村鋳造所 名誉会長
	後藤 孝	ビヨonz株式会社 代表取締役会長
	八木 稔	株式会社静岡銀行 取締役専務執行役員
	斉藤 薫	遠州鉄道株式会社 代表取締役社長
	酒井 公夫	静岡鉄道株式会社 代表取締役会長
	中村 捷二	中部瓦斯株式会社 取締役相談役
	中村 智浩	株式会社静岡銀行 地方創生部長
理事【11名】	一杉 逸朗	理事長
	中村 昭夫	常務理事
	大石 人士	常務理事
	飯田 直文	鈴与株式会社 代表取締役副社長
	小林 俊雄	株式会社小林製作所 代表取締役社長
	佐野 武男	丸富製紙株式会社 代表取締役社長
	須山 宏造	須山建設株式会社 代表取締役社長
	松井 純	株式会社静岡新聞社 取締役会長
	水谷 林蔵	静岡キャピタル株式会社 代表取締役社長
	山崎 泰啓	スズキ株式会社 常勤監査役
	山本 俊彦	静岡経営コンサルティング株式会社 代表取締役社長
監事【3名】	木内 藤男	木内建設株式会社 代表取締役社長
	後藤 康雄	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長
	鵜田 勝彦	株式会社TOKAIホールディングス 代表取締役社長

（敬称略）